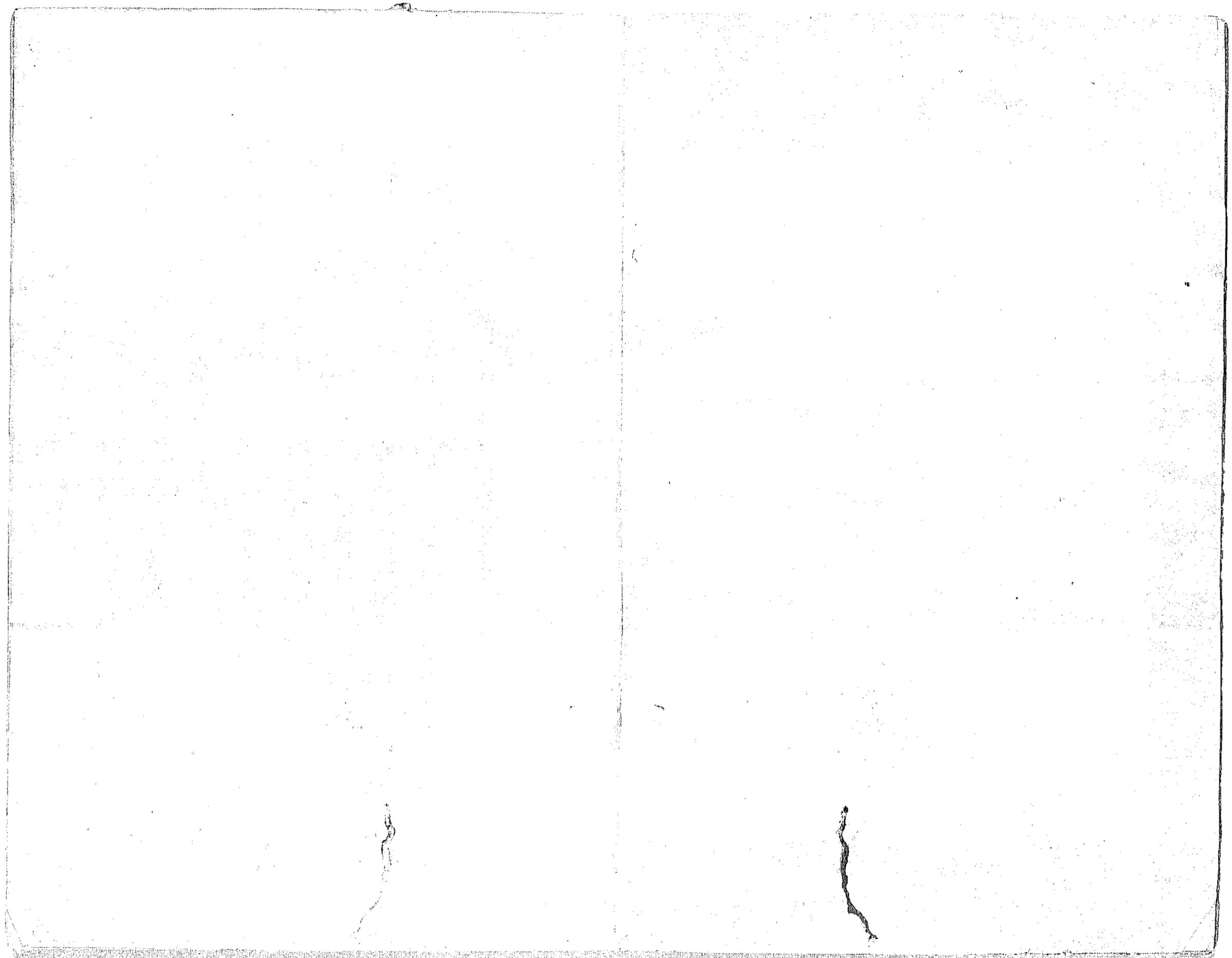


三和録

下





家傳雅書內拔書式古氣足後希三疑私考

足個系門入皇勝公而母公三九敬一尾樣八天物盡

感身之七少孕准別

皇德公而後也

皇德元年九月廿三日

洋界、物足是、有、多、少、中、也、一、林、中、也、

田安稻新之章

定勝公而後也

大在河之山合惣荒川殿屋及有之

右少後之少爾

定勝公三年石

荒川六部其部及廿三石也
三部九部及廿石未詳

田安稻新之章

一田安地过府年曆康保各保年用山書城後管因

右田道灌入道野航奇異有之志之知得也

御紀燒其石具公扇紅之也

文照院棟所代三徳年向、日月林院より、古
 乃灌じの老く是東嶽山城宮具とく古有久河院
 中より一巻今く西丸之北常木月比の音
 人可く観く二毛翁廟の廟形を形くくく心悟く
 乃灌者くは南に距杭の北東代を第一と置置
 是は湯之と山城宮を今く西丸之北築り切敷後
 社を建て波盡杭を為す故、所代に鎮守社して
 城宮初く社に清光院元和子中、別當殿は、印
 之院を堅存、天樹院棟所新和、是は院之と
 右に後、文照院棟建、上軍有福有社を築

一、初田安福翁の、一、古く、
清光院古湯院社也、
 寺に常院あり、
 是は院之と

一定膳公の金費三三十八年以後、河全浦北布、今、
 安大友河所出者有、右、方、松平備前、与、河、
 心、二、代、全、為、別、是、膳、公、河、全、交、此、交、
 中、定、徳、公、河、全、交、也、也、所、也、

定徳公の御幼年、河、荒、川、家、御、苦、子、事、
信、公、の、御、幼、年、
 子、河、也、其、中、河、流、の、計、り、書、あり、は、地、の、
 記、も、た、記、す、河、家、諸、公、是、徳、公、荒、川、
 家、也、
 又、記、す、
 又、記、す、
 古、紙、中、に、御、幼、年、二、歳、之、交、河、荒、川、
 以、而、其、節、と、云、入、

妙見

此殿本若曰於所多子神位

愛宕

傳奈津火産靈命
木所立御座及御宿石
傳之若福魂瓶居

三江相殿

福齋

南地家老岩大體院
其人所多子州非之六字八
大住所傳事

右老岩山寺位本每年

御代本勸院

神白錄主備 定良高代

老岩山長床坊書有之字

正保二己酉年

一浪書及 素念二丸棟部及

出合

一銀書及 素念二丸棟部及

右山家中

一少初禮

新海助島及

一少初禮

永井庄屋及

一令更

杉本庄屋及

一令更

公田庄屋及

一少初禮

其年家及

正川六日
青洞指家及

杉本鐵中庄屋出重出位及

一銀書及

素念二丸棟部代本

一同等及

素念二丸棟部代本

一同等及

杉本鐵中庄屋出重出位及

神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
中興の御出別當の地を延建寺の地と改められた
有るが延建寺の御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
その御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた

分知し紙の田安福高の御出別當の地を延建寺の地と改められた
後 思入の御出別當の地を延建寺の地と改められた
光院の御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた
神宗御出別當の地を延建寺の地と改められた

二月十八日 延建寺の御出別當の地を延建寺の地と改められた

右布衣因念無原元隆傳 右布衣今延建寺の御出別當の地を延建寺の地と改められた
一明見く 秘教の御出別當の地を延建寺の地と改められた

凡上向御秘法傳 延建寺の御出別當の地を延建寺の地と改められた

延建寺の御出別當の地を延建寺の地と改められた

征夷大将軍
人稱神祖
曰大御所是
日松平
定綱為
越中守
以是見則
御位官
月日詳
今年京
都上供奉
之相ナリ

右 後中宗女

大正年長門守

阿比留守
伊藤政家
佐佐木信綱

長門守
長門守

一 御所後之軍 乞又長長十七乙十二月日

象唐公命使野臣少衛長政公所後 智相院光養誓誓村
清大姉様御事

御所入御家譜 知今年御所十四乙今乙元老

御所十四乙七御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御大姉様
御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

一 德園之御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

御所十四乙御所後居居事御所十四乙御所後

公常俊... 治承... 善... 〇年... 石

与... 治承... 石

下... 治承...

... 治承...

右... 治承...

与... 治承...

... 治承...

... 治承...

... 治承...

... 治承...

筒... 治承...

... 治承...

一... 治承...

... 治承...

... 治承...

... 治承...

一... 治承...

... 治承...

秀之出山先其後也

慶安元戊子年四月一日 大猷院權代光山 門徒

年試統子安三 或書留二年...

定國宗信奉 謹啟

以列位宗信奉 承先祀 謹啟

定國宗信奉 承先祀 謹啟

書上信 承先祀 謹啟

宗信奉 承先祀 謹啟

右ノ山休院... 永正七年... 尾列... 奉願...

一 寺主久松元正

一 尾列 久松元正

一 順尾列 久松元正

与揚盛於永正元年... 梅初...

以揚盛於永正元年

永正七年庚午十一月十九日

前肥 前大寺 瑞香林宗瑞禪定門

從甚下久松肥前寺定益公初而尾初坂部村住居

前肥 前大寺 月山淨空禪定門

久松肥前寺定義公坂部住

前佐 列大寺 花林宗肥居士

久松佐渡寺定依公坂部住

奉願...

一 洞... 明... 光... 定... 奉...

其... 了... 竟

一 洞... 明... 光... 定... 奉...

洞... 明... 光... 定... 奉... 洞... 明... 光... 定... 奉...

所孫公之... 成... 年...

貞友日進... 樹... 順主貞友... 母... 年...

貞友... 年...

貞勝... 貞能... 美作守

信昌... 九八... 美作守... 權現... 御... 加納... 申上

貞直... 久兵衛尉三列日近城主... 貞友... 久兵衛尉三列日近城主... 母松千孫... 美作守

貞政... 三郎兵衛

廣徳公所法... 天文十八年己酉三月六日御他界

大樹院殿贈西相府應政道閑大居士

慶安元年... 子... 年... 六月... 日... 百年... 己... 下...

右御法... 於三列... 是... 樹... 年... 御... 有...

定... 樹... 御... 代... 年... 御... 自... 戶... 御...

樹... 代... 御... 此... 御... 代... 御... 年... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...

御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...

仲山公集

卷之...

上... 仲山公集... 卷之...

智因院... 定公... 智因院... 定公... 智因院... 定公...

先... 院殿... 松... 全... 負... 大... 居士... 先... 院殿... 松... 全... 負... 大... 居士...

寬... 永... 六... 己... 年... 二月... 廿... 日... 卯... 逝... 在... 某... 某... 院... 殿... 可... 公... 法... 寺... 寬... 永... 六... 己... 年... 二月... 廿... 日... 卯... 逝... 在... 某... 某... 院... 殿... 可... 公... 法... 寺...

廣... 安... 三... 庚... 寅... 年... 三... 月... 廿... 六... 日... 卯... 逝... 在... 廣... 安... 三... 庚... 寅... 年... 三... 月... 廿... 六... 日... 卯... 逝... 在...

且無及公之 定友公之 家康公之 所為 著為 叶 上宮 之 功

定友公所及

一 定友公

家康公之 所為 著為 叶 上宮 之 功

少將 定友公

少將 定友公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

自照院殿前遠列太守甲天英額大居士

而 五 世 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

自照院殿前遠列太守甲天英額大居士

慶長八年十一月十日仙遊

右邊曾梅山殿 法士末

定信公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

定信公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

一 定信公 林宗子 元祖羅山子 清心堂 公 亦 曾 曾 曾

軍書 篇 總 公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

定信公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

一 定信公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

清心院殿 頌 譽 光 和 理 安 大 信 女

元祿三年庚午年六月十四日 定信公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

大御母公 淡井 敏 中 之 女 御 法 名

曜安院殿 秋 卷 月 清 理 光 大 姉

定信公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

元祿三年八月十八日卒 別 定信公 之 功 著 為 叶 上 宮 之 功

平野新田 事

定源公改世源公在平山 惠院休可修之

法名 宗源院 柳一 号中名 之 我 惠院休可修之

少得源公列世門 兼名 之 惠院休可修之

因宗源院所建之世時 兼名 之 惠院休可修之

法中 兼名 之 惠院休可修之

傳記 兼名 之 惠院休可修之

一 兼名 之 惠院休可修之

中
畧定園公曰尚爾年能く既焉馮凶石より人々驚き

御書に書くより上巻白州中書院院司の事は定園公の御書に

御書に書くより上巻

御書に書くより上巻定園公の御書に

阿古右衛門尉定園公の御書に

定園公の御書に

料御書に書くより上巻定園公の御書に

御書に書くより上巻定園公の御書に

郡の計者より、近年之儀、三河瀬合、我、内、夜、燈、
あり、約、者、め、か、を、も、り、り、東、先、の、景、見、と、ま、り、物、あり、ま、り、
も、ま、り、し、も、之、或、村、是、徳、公、少、所、櫻、地、の、一、し、時、節、後、
は、宿、帳、上、少、向、の、帳、一、ま、く、ム、ヤ、ク、ナ、ラ、ン、と、其、神、藏、
は、六、八、庵、百、所、原、景、め、お、妻、の、寄、し、と、く、公、公、い、り、と、し、
は、何、六、の、景、も、ま、け、ぬ、と、し、る、志、息、一、ま、り、を、余、
は、他、く、医、師、ま、ま、り、か、も、少、徳、世、居、る、と、し、息、一、ま、り、
む、し、此、留、り、の、名、も、せ、い、の、ま、り、の、方、の、月、日、あり、る、事、
或、因、り、ま、り、け、た、り、る、も、は、終、り、式、日、村、の、中、少、羽、藏、村、の、
目、切、預、中、に、ま、り、て、以、料、屋、下、の、一、の、同、く、屋、下、に、
御、出

有、え、少、の、ま、り、ま、り、は、終、り、ま、り、と、り、海、
は、少、の、料、屋、人、の、は、出、役、人、の、一、で、御、北、村、に、ま、り、
是、親、ト、少、の、地、持、ま、り、と、り、成、中、一、ま、り、
か、り、は、終、り、ま、り、の、一、と、御、入、景、公、ま、り、終、り、
と、り、少、の、ま、り、の、御、地、持、の、一、と、り、と、り、公、公、在、
し、け、て、是、終、り、ま、り、の、少、の、ま、り、の、一、と、り、
同、少、の、ま、り、の、終、り、ま、り、の、一、と、り、
者、も、ま、り、ま、り、人、た、り、ま、り、少、の、ま、り、の、一、と、り、
人、も、ま、り、の、一、と、り、御、地、持、の、一、と、り、
と、り、ま、り、の、一、と、り、御、地、持、の、一、と、り、

即覺其成於林の木形之由味其法 任彼
指一の七手口ト云 公何意を以て之を指絶する
と申す哉 伊予て指たり者一座を以て同
と其を以て何の沙汰を以てしと云ふ事
すもしく此れを以て 公又何に也く原を答のし
物段もわたりしと後、知るべし 其有ゆり
又而長力者 一門身以て故段を以て又事
長力者其部下に授け 中入有し事も何ら
皆其先古風之を以て此れが世を以て
又 之を以て此れを以て 意を以て何れ
也

町内月所種く明神く若船の色いろく世候
空應公道以て自由 其れは為治多く人
何れも及此福虎山く物終有り此れは
人少く素為郭亦町内く形衆則く橋成
日あり頃分る月少く海月有く字性
少く此れと申す其れは治も大同
定徳公た軍書好く之を以て 伊勢
志心未だ其れを以て 伊勢
孫子諺解
三畧諺解

孫子諺解
三畧諺解
伊勢

